

PRODUCT INFORMATION BULLETIN

BLACK-AND-WHITE PAPERS

一般引伸用高級黑白印画紙 フジブロマイドレンブラント V

FUJIBROMIDE REMBRANT V

1. 特長及び用途

フジブロマイド レンブラント V は、単階調と多階調の両特性を合わせ持つ、高級引伸用黑白バライタ印画紙です。アマチュア・プロフェッショナルを問わず、格調高い優れた画質と長期保存性が要求されるプリントの作成や、展覧会・美術館の展示用写真、コマーシャルフォト、営業写真などに最適です。

- 単階調の2号として、ハイライトからディープシャドウまで濃度レンジが広く、優れた調子再現性を有し、質感描写が一段と向上し、格調高い画質が得られます。
- 「フジVGフィルターN」使用により、00から5号調まで12段階に階調をコントロールできます。
- 厚手（レンブラントV G2）は、落ち着いた気品、風格のある白さとややウォームよりの純黒調、薄手（レンブラントV F2）はシャープでメリハリのある純白・純黒調です。

2. 種類

品 種	面 種	厚 さ	厚紙の色
レンブラントV G2	光沢・滑面	厚手 0.29mm	白
レンブラントV F2	光沢・滑面	薄手 0.18mm	純白

3. 階調及び特性

現像条件：パピトール 希釈倍率 1:1 24℃ 90秒 血現像処理 <単階調としての特性>

階調	ISO レンジ	対応するネガの調子	ISO 写真感度
2号 (G2/F2)	R125	標準ネガ	P640

<多階調としての特性（フジVGフィルターN使用）>

	フィルターなし	フィルター号数（フジVGフィルターN）											
		00	0	1/2	1	1 1/2	2	2 1/2	3	3 1/2	4	4 1/2	5
ISO 感度	P640	P320	P320	P320	P320	P320	P320	P320	P320	P320	P160	P160	P125
ISO レンジ	R125	R160	R150	R140	R135	R130	R125	R115	R110	R105	R100	R85	R70
階調	2号調	0号調		1号調		2号調		3号調		4号調		5号調	

← 軟調

硬調 →

4. セーフライト

富士セーフライトガラスSLG-2V（明るい黄赤）に20W電球を使用し、1m以上離して照射時間3分以内で作業してください。

* セーフライトは事前に安全性のテストをしてから使用することをお勧めします。

5. 現像処理前のペーパーの取扱い・保存

- 未使用・未露光、露光済を問わず、現像処理前のペーパーは温度・湿度が高いほど写真感度、物理的特性などに悪影響を受けます。低温での保管がベストです。実用的には次のような条件で保存してください。

- 短期保存：直射日光や高温高湿の場所を避けて（冷暗所）で保管
- 長期保存：温度 10℃以下

- 低温下（冷凍庫や冷蔵庫など）で保存されたペーパーを使用するときは、取り出した後、室内でそのまま放置し、ペーパーが室温に戻ってから開封してください。低温保存されていたペーパーを取り出してすぐ開封すると、表面に水滴がつき、ペーパーが変色したり、膜面が損傷しやすくなります。

冷凍・冷蔵保存されたペーパーの表面を室温に戻すための最短放置時間の目安は下記のとおりです。

室温 20℃における放置時間の目安

単位：時間

ペーパーサイズ	保存温度		
	-20℃	0℃	10℃
20.3cm × 25.4cm (100枚入り)	4	3	2
110.5cm × 20m	6.5	5.5	4

注 ・ 放置時間を短くするためにペーパーを熱するようなことは決してしないでください。

・ 当日使用するペーパーは全量、前日中に冷蔵庫などから取り出ししておくことをお勧めします。

6. 露光

- プリンター … タングステンタイプの光源を用いた引伸機が最適です。

- フィルター … 多階調印画紙用フィルターは、フジVGフィルターNを使用してください。

7. 現像処理

● 標準現像処理 (皿現像)

工程	処 理 液	処理温度(℃)	処理時間
現像	コレクトールEまたはパピトール	20～24	90秒
停止	富士酢酸(50%)30mL/L 水溶液	15～25	5～15秒
定着	スーパーフジフィックス-L	15～25	3～5分
予備水洗	流水	15～25	1分
水洗促進	富士QW	15～25	F:2分 G:6分
水洗	流水	15～25	F:10分 G:20分
安定化	Ag ガード	15～25	1分
乾燥	自然乾燥またはフェロタイプ乾燥		

画面の傷・ムラやペーパーの折れなどの防止および安全対策のため、ゴム付き竹ピンセットまたはゴム手袋を使ってペーパーを現像処理してください。

(1) 現像

コレクトールEまたはパピトールを使用し、下記の範囲内で、かくはんしながら現像してください。

現像液	希釈	現像温度の範囲(℃)	現像時間の範囲(秒)	標準現像能力(枚/L)	色調
コレクトールE	1:1	20～24	60～120	四切40	純黒調
パピトール	1:1	20～24	60～120	四切40	純黒調

(2) 停止

停止液には富士酢酸(50%)30mL/L水溶液(富士FS-1)をお勧めします。停止液の温度を15～25℃に保ち、5～15秒間よくかくはんしながらペーパーを浸してください。

注 停止液中に長時間(20分以上)浸しておくと、乾燥後の平面性が悪化する原因になりますので、停止処理は必要最小限にとどめてください。

(3) 定着

スーパーフジフィックス-Lを使用し、定着液の温度を15～25℃に保って定着してください。定着ムラや定着汚染を防止するため、画面を下側にしてペーパーを浸し、初めの30秒間は十分かくはんしてください。

定着液	種類	定着温度	標準定着温度	標準定着能力
スーパーフジフィックス-L	迅速酸性硬膜定着	15～25℃	3～5分	四切60枚/L

* 定着時間が長すぎると、濃度がうすくなったり、色調が変化したりすることがありますので、注意してください。

(4) 予備水洗

15～25℃の流水でかくはんしながら1分間水洗します。予備水洗は印画紙の表裏面に付着している定着液の成分を除去して、水洗促進液の劣化を防ぐために行うものです。

(5) 水洗促進

富士QWを使用し、水洗促進液の温度を15～25℃に保ち、画面を下側にしてF2で2分間、G2で6分間ペーパーを浸し、ときどきかくはんしてください。処理能力は、四切30枚/Lです。

(6) 水洗

15～25℃の流水でかくはんしながらF2で10分間、G2で20分間水洗します。この間に2～3回水を交換してください。

水洗促進処理を行わない場合は、F2で60分間、G2で90分間水洗します。

(7) 安定化 (画像安定化処理)

標準皿現像処理または自動現像機処理で得られたプリント画像を、長期にわたり変色・退色から守るため、黒白画像安定化仕上げ剤「Agガード」の使用をお勧めします。処理能力は、四切30枚/Lです。

< Agガードの使い方 >

① 塗布方式

Agガードの希釈液(Agガード原液と水との混合比=1:3～1:4)を作ります。次に、フィルムスクイズ用スポンジや清潔な柔らかい布(例えば洗ったガーゼ)に、この液をしみ込ませ、画像層の面に塗り、そのまま自然乾燥してください。

② バッシング方式

プ リ ント	処理時間 (Agガード原液1:水3～4)
標準皿現像処理した乾燥済みプリント	30秒～1分
標準皿現像処理で水洗終了後の未乾燥プリント	1分

注 Agガード処理後、水洗しないでそのまま乾燥してください。

< Agガードの特長 >

- 銀画像の調子や色調を変えずに、金保護処理相当の高い画像安定化効果が得られます。
- 原液で使用するとさらに高い画像安定化効果が得られます。
- 処理液の調液・処理方法が簡単なおうえ、同時に水滴ムラを防止できます。

(8) 乾燥

F2(光沢薄手紙)は、フェロタイプで乾燥すると美しい輝きのある光沢面に仕上がります。光沢を押さえたい場合は自然乾燥してください。

G2(光沢厚手紙)は自然乾燥してください。フェロタイプ乾燥することもできます。フェロタイプ乾燥では、温度が必要以上に高くなると画像の色調がフェロ焼けで変化したり、印画紙が黄変することがありますので注意してください。

8. 現像処理後のペーパー（プリント）の取扱い・保存

プリントの色像は、置かれる環境によって、さまざまな要因（熱、湿気、光、大気汚染など）が複雑にからみあった状態で影響を受けます。

プリントの保存に望まれる一般的な条件は以下のとおりです。

- 推奨保存条件：
- 温度 25℃以下、相対湿度 30～50%の範囲で通気性が良い場所
 - 長期間保存する場合は、温度 10℃以下、相対湿度 30～50%の範囲

9. サイズ

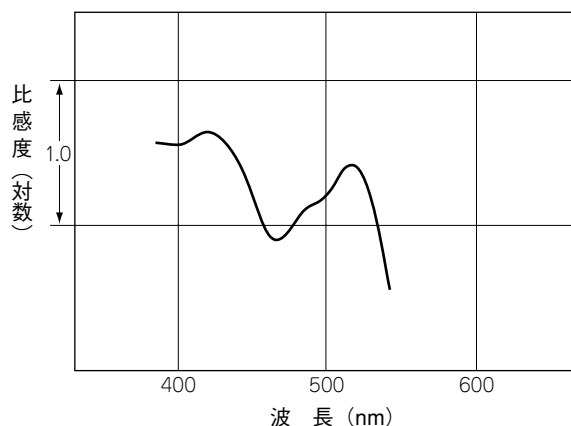
● シート

サイズ (cm × cm)	枚数	G2	F2
大全紙 (50.8 × 61)	10	●	—
	10	●	—
全紙 (45.7 × 56)	20	—	●
	50	—	●
半切 (35.6 × 43.2)	10	●	—
	20	—	●
大四切 (27.9 × 35.6)	10	●	—
	50	●	—
四切 (25.4 × 30.5)	10	●	—
	20	—	●
	100	—	●
六切 (20.3 × 25.4)	20	●	●
	50	●	—
	100	—	●
大カピネ (13.0 × 18.0)	250	—	●
カピネ (12.0 × 16.5)	250	—	●

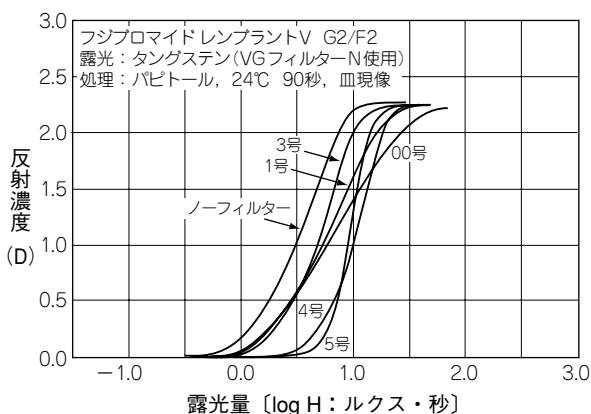
● ロール

サイズ (cm × m)	ロール数	G2	F2
110.5 × 20	1	●	—

10. 分光感度曲線

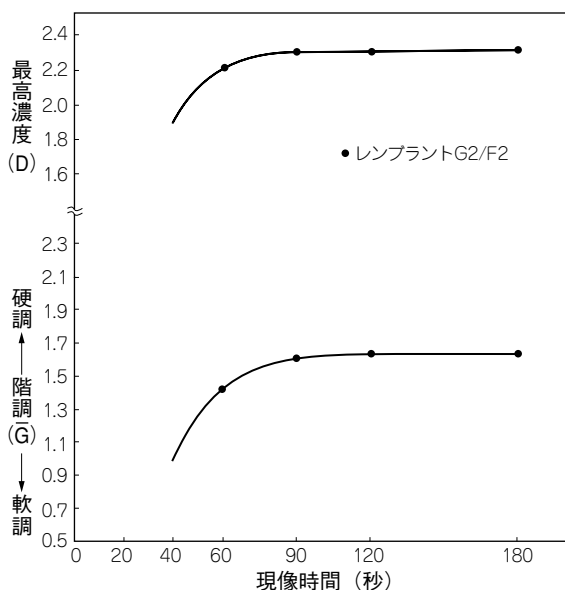


11. 特性曲線

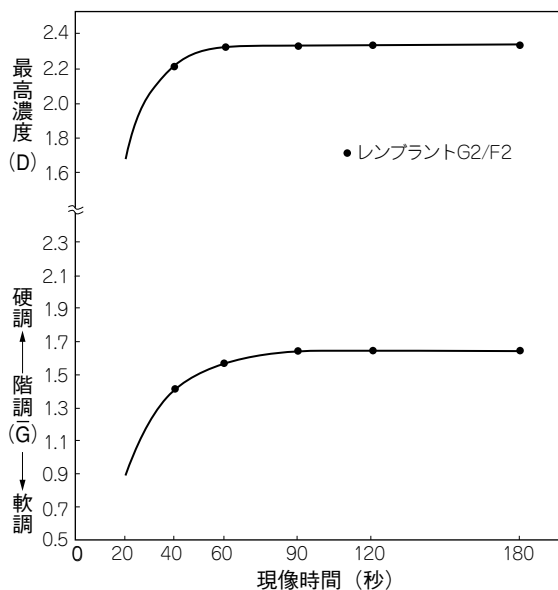


12. 現像時間と写真特性

① コレクターE 24℃



② パピトール 24℃



注 この資料に記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。

FUJIFILM

富士フィルム株式会社 イメージング事業部

富士フィルムイメージング株式会社 営業本部 プロフェッショナル営業部

富士フィルムイメージング株式会社

東京本社 / 〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30 富士フィルム西麻布ビル
 大阪支社 / 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11
 北海道支社 / 〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西3-1 札幌北三条ビル8F
 東北支社 / 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命ビル7F
 名古屋支社 / 〒461-0002 愛知県名古屋市中区代官町35-16 第一富士ビル6F
 九州支社 / 〒815-0031 福岡県福岡市南区清水2-20-6

TEL 東京 (03)5962-7220
 TEL 大阪 (06)6205-6411
 TEL 札幌 (011)241-7162
 TEL 仙台 (022)265-2123
 TEL 名古屋 (052)930-9800
 TEL 福岡 (092)541-1199